柏崎市 第二次スクリーニングのまとめ

1世间印 9	第二次スクリ・	ーニンクの	まとめ																														
			第一	-次スク	リーニング																	第二	二次スク	リーニング								第	二次スクリーニング結果
No.	盛土			日塔	大規模盛土造成地の抽出					優先度評価														その	他	土質・ 地下水調査		:	安定計算				
	造成地の 位置	盛土造成地の規模			谷埋 腹付 現地での め型 け型 確認		①盛土および擁壁の形状と構造				29	②宅地地盤・擁壁・法面の変状						⑤造成 年代		⑥変動 確率				保全対象		+		地震	時安全率				
盛土番号	所 在 地	面積(㎡)	原地盤勾配(度)α	高 や (m)	面積 3 以上 0 0 ㎡	5 配	必要性	坦	法面勾配	小段の設置	T	部分	擁 壁 構 造	宅地地盤	擁壁		O		③ 地 下 水	④盛土下の土層状態	造成年	基	方式1/方式2/数量化	特記事項	5	芰	住宅戸数公共施設等	査 結 果	態	T ータナン	· 位 全位 L- すべ	部分の すべり	帯心百丁
柏崎市 0028	大字鯨波鯨波二丁目	30,682	3.3	4.0	○ (30,682㎡)	_	不 - 要	谷埋め型	急 (1:0.8)	適	不適(未処理)		適 適 診 と	無	有	無	無	有	有(水抜き穴)	有(沖積層)	S 4 7 5 5 9	1. / 97 / 84	.3 大	河川周辺の沖積層平坦部面に1~4m程度の厚さで盛土されている。 調査地の南西部の宅地は周辺部を擁壁で囲われており、擁壁高は1~4mで北西部の角 も高い。この擁壁には沈下によると思われる目地部のコンクリートの破損、突出部の 差、水路工からの湧水等、多くの箇所で変状が見られ、また盛土内のひな増擁壁にも 沈下と思われる変状が認められる。 この地区は河川の出水は上方ダムの放流により、擁壁を超える水位まで上昇すること 生している。盛土の一部が拡幅されており、4mののり面は盛ごぼし状態で標準勾配 ていない。 地下水は擁壁部から出水が認められるように、盛土内に存在していると考えられる。 的には擁壁がやや不安定であると考えられる。盛土が急な箇所には現在宅地はない。	D段 っ不等 : が発 となっ 全体	A1	国道 8 号、前川	家皮コミセン 無	盛土のり面の崩壊擁壁傾動転倒	令	和6(202	4)年度に	こ第二次スクリーニング調査を実施中
柏崎市 0035	朝日が丘	7,138	4.5	8.8	○ (7,138㎡)	_	不 – 要	谷埋め型	適	適	適		適 診() 当		有	無	無	有	有(水抜き穴)	有(沖積層)	S 4 2 5 1 S 4 7	5. / 74 / 9:	.9 大	沢を埋める盛土構造であり、未端は高さ1m程度のプロック積縮壁である。盛土内に高さ3m以下の重力式擁壁、プロック積擁壁、増積擁壁が施工され、プロック積擁壁擁壁に緩亀裂および前傾が確認される。 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラックが認められるが、変状が拡大してもその影響はない。	と増積 A	A4	28 無	無	盛土のり面の崩壊	令分	和6(202	4)年度に	に第二次スクリーニング調査を実施中 -
柏崎市 0042	向陽町	9,962	8.8	7.5	○ (9,962㎡)	-	不 要	谷埋め型	適	適	適	適 (C	適 診() 当	有	有	無	無	有	有(法尻)	有(沖積層)	S 5 1	0. / / / 8	.5 大	沢を埋める盛土構造であり、末端は高さ5m程度の小段を有する勾配1:1,7ののり面る。また、末端側面は高さ3~3.5mのブロック積練壁である。 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラックが認められるが、変状が拡大しても5の影響はない。 地下水はのり尻に褐色のしみ出しが確認される。		A 4	軽 51 井 川		の温	BVR5-1 3.7	1.29		盛土及び盛土下部の軟弱な旧表土・粘性土層をとおるすべり を各断面に1~3まで想定し、安定計算を実施した結果、常時 及び地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。
柏崎市 0043	向陽町	6,798	8.6	8.9	(6,798㎡)	_	不 — 要	谷埋め型	適	適	適		適 該東積) 当	右	有	無	無	有	有(法尻)	有(沖積層)	S 5 1	0. // 後 47 // 8	.5 大	沢を埋める盛土構造であり、末端は高さ4.5m程度の小段を有する勾配1:2.0ののり高。また、末端側面は高さ5mのプロック積練壁である。 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラックが認められるが、変状が拡大しても写の影響はない。 地下水はのり尻に褐色のしみ出しが確認される。また、のり面にも湿りが確認される	B地へ A	A4	10 無	無	盛土内の滑動崩壊	BVR5-3 1.1	72 1.04	3 –	盛土及び盛土下部の軟弱な旧表土・粘性土層をとおるすべり を各断面に1~3まで想定し、安定計算を実施した結果、常時 及び地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。
柏崎市 0044	向陽町	20,541	5.3	13.5	○ (20,541㎡)	_	不 _	谷埋め型	適	適	適		適 診() 当	右	有	無	有(道路に亀裂)	有	有(法尻)	有(沖積層)	S 5 8	1. / 64 / 8	.2 大	沢を埋める盛土構造であり、盛土中腹から下方にかけては調整池が設置されている。 は高さ5m程度の小段を有する勾配1:2.5ののり面である。また、末端部は耕作地で 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラック、末端部側面のブロック積擁壁に水平 しが認められるが、変状が拡大しても宅地への影響はない。 地下水はのり尻に設置された法止め工は沈下し水没しており、降水時に盛土内の地下 上昇する可能性がある。	ある。 [☑] 押出 A	A 4	軽 #	無	盛土内の滑動崩壊	KO-B-1 0.3	35 1.07	4 –	複合すべり1ケース(盛土と旧地表の境界)と円弧すべり面を設定し、安定解析を実施した結果、いずれのすべり面でも常時及び地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。
柏崎市 0047	大字上田尻	3,662	2.1	5.9	○ (3,662㎡)	_	不 — 要	谷埋め型	適	適		急 (6°) (C	適 認 (2) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	有	有	無	無	有	有(水抜き穴)	有(沖積層)	S 5 1	0. / 82 / 8:	.2 大	盛土は高さ5mのL型擁壁にて囲まれている。L型擁壁には縦亀裂やコーナーでの欠抗傾が確認され前傾箇所前面には高さ1.2m程度の補強土壁と1:1.5ののり面による押む土が施されている。 宅地のコンクリートに亀裂が確認され、補修されている。 地下水についてL型擁壁の水抜き穴および縦亀裂箇所から常時出水が確認され盛土戸位は高いものと推定される。	さえ盛 A	A1	8 無	無	による擁壁倒壊 の不安定化	KA-B-1 0.4	14 1.28	2 –	円弧すべり面を設定し、安定解析を実施した結果、常時及び 地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。な お、補強土壁の性能を考慮し、擁壁はすべらないと想定し た。